



第349回 12月定例会 平成29年度一般会計補正予算案などを可決

目次

矢板市議会だより 創刊からの歩み	2
議会報告会・意見交換会 誌上レポート	4
12月定例会の審議結果	9
委員会審査レポート	10
市勢発展のために！「一般質問」報告	12
「これまで」と「これから」をご報告 矢板市議会 スケジュール帳	18

# 矢板市議会 だより

## さらなる「進化」へ。 創刊からの歩み



創刊号 昭和40年11月10日発行



人口——28,312人  
議員数——30名

掲載されているのは、昭和40年9月22日から28日までの日程で行われた第41回定例会について。  
創刊にあたっての議長挨拶では、念願だった常備消防が設置されたこと、高原小中学校の改築が実行されたこと、また、今後の重要課題として、東北自動車道インターチェンジの誘致等が挙げられていました。

第50号 昭和55年11月30日発行



人口——32,747人  
議員数——26名

掲載されているのは、昭和55年9月5日から16日までの日程で行われた第130回定例会について。  
表紙写真は第35回国民体育大会秋季大会の少年サッカー競技会開会式の様子です。一般質問では、日新小、長井小、上伊佐野小の体育館設置について、矢板駅前広場の整備について等の質問がありました。

第100号 平成5年6月1日発行



人口——36,211人  
議員数——24名

掲載されているのは、平成5年3月2日から17日までの日程で行われた第201回定例会について。  
一般質問では、教育行政について、コンピュータ導入による生徒に与える影響力と今後の見通しについて、米の輸入自由化について等の質問がありました。

第108号 平成7年5月15日発行



サイズがB5からA4に大きくなりました。

第128号 平成12年5月15日発行



カラーになりました。

第150号 平成17年11月1日発行



人口——35,685人  
議員数——22名

掲載されているのは、平成17年9月2日から22日までの日程で行われた第272回定例会について。  
一般質問では、アスベストによる健康被害について等の質問がありました。

### 矢板市議会だより第200号の発行に寄せて

このたび、市民の皆さまのおかげを持ちまして、「矢板市議会だより」の第200号の発行がかないました。  
昭和40年の創刊号の発行から52年が経過しましたが、創刊号当時課題となっていた東北自動車道矢板ICも今では整備され、交通網の充実が図られるなど、矢板市には様々な変化がありました。奇しくも今、この間に建設された様々な公共施設のあり方が今後の矢板市における大きな課題として挙げられています。本市の人口は平成7年の36650人をピークに減少傾向にあり、こうした課題に直面している今、私たちはどのように対応していくべきなのか、さまざまなアイデアを駆使していくことが必要なのではないでしょうか。  
これから先、矢板市が益々発展することを祈念して、200号発行のご挨拶とさせていただきます。  
矢板市議会広報広聴委員長 関 由紀夫



表紙の字【がんばろう矢板】  
矢板市在住の書家、柿沼翠流先生によるものです。  
柿沼翠流氏略歴  
毎日書道展毎日賞、栃木県マロニエ文化賞などを受賞した外、長野県佐久市立近代美術館に「命」が所蔵されるなど幅広く活躍。

# 議会報告会・意見交換会

誌上レポート

## 未来の矢板を築く!

共通テーマ:

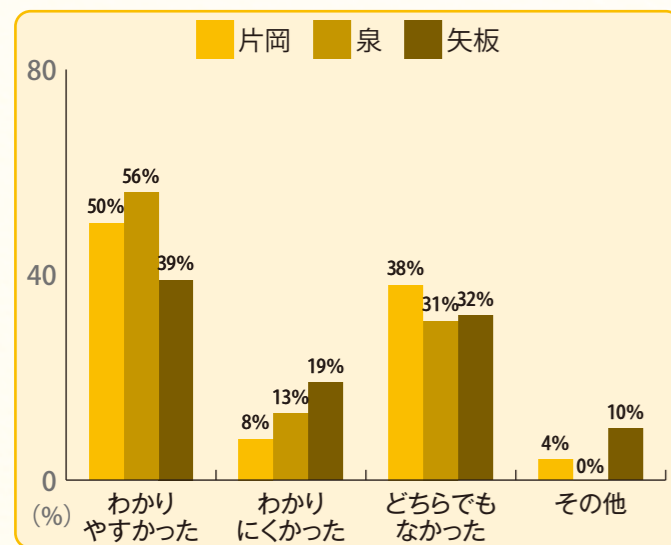
# (仮称)フットボールセンターを含めた公共施設のあり方について

平成29年10月11日から3日間、市内3会場で第3回「議会報告会・意見交換会」を開催しました。

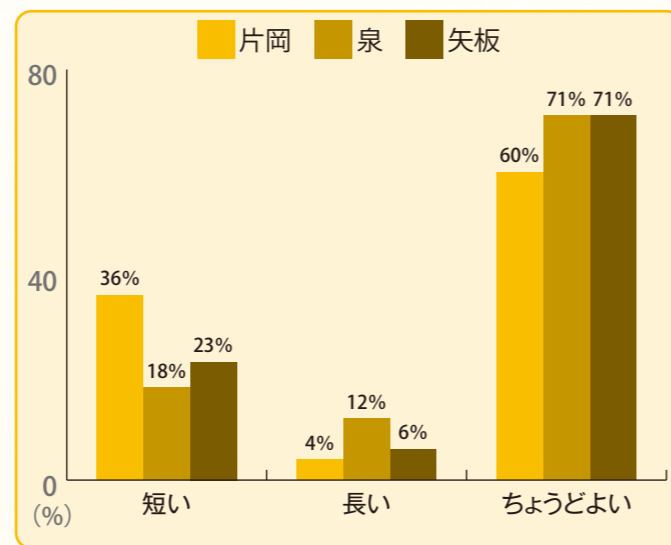
多くの方のご参加、本当にありがとうございました。

今回の意見交換は、事前にテーマを設定し、グループに分かれ、ふせんに意見を書き出し、話し合い、まとめて発表することで、活発な意見交換となりました。誌上にて、アンケート結果、3会場共通テーマ及び会場別テーマによる意見交換で寄せられたご意見・ご提言の一部をご紹介します。

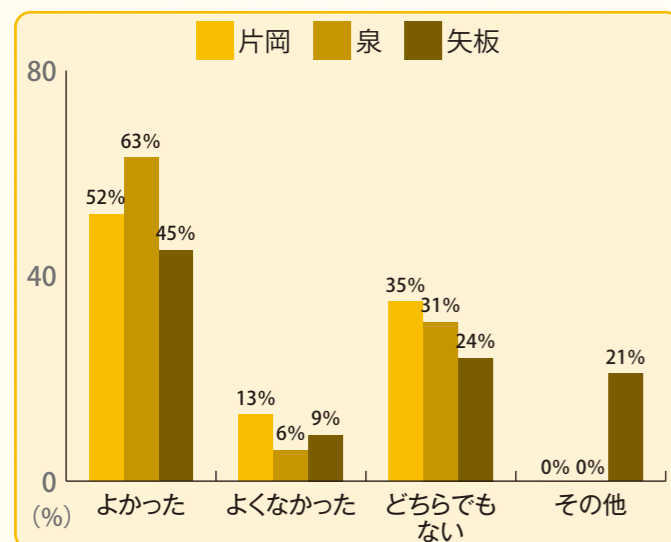
### 第1部 議会報告会の内容はわかりやすかったですか?



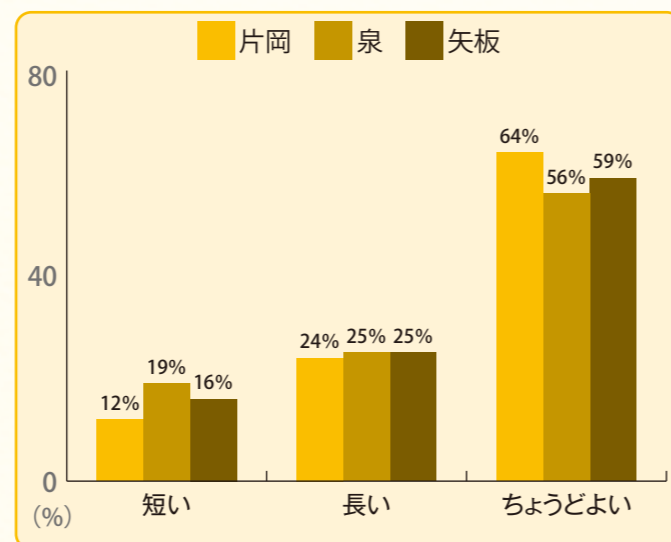
### 第1部 議会報告会の時間はどうでしたか?



### 第2部 意見交換会はどうでしたか?



### 第2部 意見交換会の時間はどうでしたか?



### ■(仮称)とちぎフットボールセンター関係

- 基本的に使用料無料（一部有料：コインシャワー）で、テニス、バスケットなど複合させ、ヴェルフェのホームグラウンドとしてはどうか。
- 矢板中央高校との対抗試合や、国内外の交流試合の誘致などにも有効ではないか。
- 民間経営として手を挙げた「ヴェルフェたかはら那須」は初期投資を減らすため、サッカーコートに人工芝2面にし、クラブハウスを半分にして市予定の9億3000万円から約3億円の見積書を市に提出している。3月末までに「toto」の申請をするためには、少なくとも今年中に話を進めなければならない。建設しないのは署名運動をした市民に対する背任行為でもある。意思決定を早くして欲しい。
- 赤字にならないように。
- 身の丈にあった施設にし、運営経費は民活を利用したり、サッカー以外の活用方法も考えるべき。
- 草を刈り、決定するまで更地のまま、子ども達の遊び場にして有効活用してはどうか?
- 作ると決まったのだから、市長が代わっても何か良いものを作るべき。
- 矢板の将来はサッカーだけでなくスポーツツーリズム、健康増進が重要。市が総合ビジョンを出し、交流人口を増やすべき。フットボールセンターで年間10万人の人が見込める。できれば滞在型にし合宿誘致をすれば地域の活性化になる。
- 多額の税金を使い、付帯施設を考えるなら専門委員会などを立ち上げて専門の知識人の議論が必要。みんなで力を合わせよう。
- 少子高齢化を踏まえ、本当に活用維持ができるのか考えて行かなければならないのではないか。
- (仮称) とちぎフットボールセンターについての調査にあれだけの予算をかけて何をしたのか分からない。市の税金を使ってやらなければならない調査だったのか疑問。
- 地元にはサッカーチームがない、さまざまな要因で周辺住民に迷惑が掛かる、市の負担が多く収入アップに繋がらないなどの視点から、再検討をすべき。



### ■公共施設関係

- 図書館の充実として、夜の開館時間の延長、子どもや未就学児の「こたばの教室」があれば良いと思う。
- 塩谷町のように、長井小・上伊佐野小に宿泊施設を作り交流人口増を図るべきである。
- 公民館の拠点を統合して、出先(泉・片岡)の人員を繁閑に合わせ流動的に。
- 健康寿命を延伸するための施設は、最少の予算で地域別に分散して設けるべき
- 市内の小学校を3校にすべきという意見に対して小学校はもっと必要という意見もあるため、慎重な審議が必要である。
- ランニングコストを安いものにして民間に任せる。
- 議会でも特別委員会を設けて検討するべき。
- 公共施設について、30年間で40%削減では遅い。5年間で40%削減をやるべき。
- 公営住宅は今後減少すべき。民間賃貸住宅事業を圧迫している。

【ご注意】 ※掲載されている内容については、参加されていない方にもわかりやすくお伝えするために、加筆修正など編集をしております。  
※すべての内容は「矢板市議会ホームページ」にてご紹介しておりますので、是非ご覧ください。

# 片岡

- 10月11日(水)
- 片岡コミュニティホール
- 39名参加



## 片岡地区テーマ: 片岡駅周辺の活性化について

- 片岡駅のツツジの再生、存続を望む。
- 今年はJプロツアーや発動機展示などでたくさんの方が来てくれた。駅の近くでのイベントをどんどん開催すべき。
- 100円でのB級グルメブースを作れば、さらに多くの集客が見込める。
- 矢板駅近くに「キラキラサロン」があるが、片岡駅近くにはないので、高齢者がくつろげるサロンがあると良い。
- 駅西口に案内看板の設置が必要。
- 立派な片岡駅を有効活用すべき。駅西の保留地にコミュニティ機能を備えた施設をつくり、駅利用者も活用できるカルチャーセンター的な賑やかなスペースにしてはどうか。

- 西口について、矢板市が優遇措置を設け、飲食関係10店舗以上を誘致。
- 西口について、県道の整備より、西口アクセスの市道の整備を優先すべき。
- 東口について、国道4号に直結する道路整備を。

## その他

- 「キャラ弁」から「コンビニ弁」まで家庭格差があり、子ども達がかわいそうなので「お弁当の日」は無くしてほしい。
- 大田原市は給食費が無料だが、矢板市も無料にならないのか。
- 書く形式だと言にくいことも書けるし、今までのように一部の人でなく、たくさんの方の意見も知ることができるので、このやり方は良い。

- 長井小学校に宿泊施設を作ってはどうか。
- グループ討議。最初は変なの……と思ったが、進めていくに従って有意義なものだった。直接、皆の意見を聞くことができ、よかった。市議の皆さんも身近に感じた。

# 泉

- 10月12日(木)
- 泉公民館集会室
- 24名参加



## 泉地区テーマ: 鳥獣被害対策について

- 猟友会の方々の高齢化に伴い、若い方々に銃免許を取ってもらいたい。そのためにも市に銃所持免許取得費用の負担(補助)をしてもらいたい。
- 出没する場所等の情報公開が必要。情報公開により捕獲の効率を上げることができないのではないか。
- ジビエ\*としてPRも可能であるが、放射能の関係で泉地区では不可能であるため、捕獲・処分するしかない。

- 最終的には、キツネ・タヌキ・ハクビシンもいるため、好む木を植樹するなどして、共存していくのが理想である。
- 手当てを捕獲実績ではなく、罠の設置数にすれば捕獲数が増えるのでは。
- 捕獲のためのチーム結成が必要。

- 現在はクマがハチミツやお墓のお供え物を狙って出没する。特に春から夏は2、3頭の子を持ち、気が荒くなる。イノシシやクマが人家周辺にまで来ているため、まずは、安全なレベルまで減らすことが先決である。
- 人家と里山の下刈りをして綺麗にしていれば、イノシシやシカは来ず、山で暮らすようになる。
- 駆除や罠、電気柵等に市の補助を。

\*ジビエとは、狩猟で得られた野生鳥獣の肉などを意味するフランス語で、近年、獣害対策として捕獲された野生鳥獣を、その命に感謝しながら、料理や加工品として有効活用する取り組みが広がっています。

## その他

- 市民の市外への移住を防ぐ方策を検討して欲しい。
- 八方ヶ原の山の駅の広報・活用が必要だ。レンタサイクルやレンタカートがあれば良い。
- 学校教育については、英語教育の充実が不可欠。幼少の頃から英語をやらせるべき。

- この企画はとても良く、大変有意義だった。もっと回数を増やして欲しい。
- 市町村の収入タイプから自主財源を増加させることは、かなり時間がかかり困難であると思うので、国庫支出金、県支出金を得られるように市として国や県に提案していく必要があるのではないか。

- 次世代のための公共施設のあり方について。市民の多くの方に関心を持ってもらうことが重要なので、市議会の中でも積極的により多くの議論をすることにより、市民も関心を持つと考える。

# 矢板

- 10月13日(金)
- 矢板市文化会館小ホール
- 44名参加



## 矢板地区テーマ：国道4号の整備について

- レディオベリーの交通情報で、朝夕、中北交差点の渋滞が告げられる。これは矢板市にとってマイナスイメージではないか。
- 事業を早く実現させるためには、矢板の道路整備に精通しているリタイア組を募って検討委員会を発足すべきである。
- 中交差点丁字路から十字路にすることで、渋滞解消が図られるのではないか。右折ラインを長くしなければならぬのではないか。
- 木幡アンダーから直接国道4号に繋がるアクセス道路が必要。
- 国の事業であるが、関連して県道・市道の整備計画はあるか。
- 矢板のまちづくりビジョンをしっかりと構築した上で、どのように道路を整備するか検討すべきである。
- 国道461号と国道4号の重複部分を立体交差にするなどして、整備すれば渋滞が緩和されるのではないか。

## その他

- どんなことでもやると決めたことは、市長が代わっても責任を持って実行してもらいたい。
- 地域おこし協力隊は縦横のつながりを工夫して欲しい。
- 木幡東の市営バスが病院に行く時間には来るので乗れるが、昼頃の帰りのバスがない。行き帰り利用できるようにして欲しい。
- 市議の方と突っ込んだ話ができ良かった。3班に分かれたディスカッション形式だったので、多くの人の意見が聞けて、通常の討論会と違い良かった。今後もこの形式でやって欲しい。テーマが施設、4号線とされていたので話しやすかった。
- 議員の方と一般市民の方が、膝を交えて意見を集約するということは大変良い機会になったと思う。数をもっと増やせば良い。
- (第2部意見交換会について) テーマが多すぎて、中身の審議にほとんど入れなかった。テーマごとに開催の検討を望む。

# 第349回 12月定例会 (12月1日~14日)の審議結果

平成29年度一般会計補正予算などを議決いたしました。

議案番号	件名	賛成・反対	議決結果
第1号	市長の専決処分事項承認について 専決第6号 平成29年度矢板市一般会計補正予算(第4号)		承認
第2号	平成29年度矢板市一般会計補正予算(第5号)		
第3号	平成29年度矢板市介護保険特別会計補正予算(第3号)		
第4号	平成29年度矢板市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)		
第5号	平成29年度矢板市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		
第6号	平成29年度矢板市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)		
第7号	平成29年度矢板市水道事業会計補正予算(第2号)		
第8号	矢板市情報公開条例の一部改正について		
第9号	矢板市個人情報保護条例の一部改正について		
第10号	矢板市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	全会一致で賛成	原案可決
第11号	矢板市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について		
第12号	矢板市職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について		
第13号	矢板市市税条例の一部改正について		
第14号	矢板市都市計画税条例の一部改正について		
第15号	矢板市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について		
第16号	矢板市城の湯やすらぎの里設置及び管理条例の一部改正について		
第17号	矢板市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正について		
第18号	矢板市立図書館の指定管理者の指定について		

議案をこのように審査しました。

# 委員会 審査レポート

## 総務厚生常任委員会

◎佐貫 薫 ○関由紀夫 藤田欽哉 和田安司  
中村久信 石井侑男 中村有子 渡邊孝一

**議案第1号**

・市長の専決処分事項承認について  
専決第6号 平成29年度矢板市一般会計補正予算(第4号)

**概要** 衆議院議員総選挙に要する経費で、歳入歳出にそれぞれ1850万円を追加計上し、予算総額を133億400万円に補正したもの。

**結果** 全会一致で承認

**議案第2号**

・平成29年度矢板市一般会計補正予算(第5号)

**概要** 歳入歳出にそれぞれ4億3090万円を追加計上し、予算総額を137億3490万円に補正するもの。市道安沢越畑14号線道路新設改良事業1億6000万円などが追加計上されている。

**質疑** 矢板市庁舎等整備基金への今年度分の積立額はどれくらいになるか。

**説明** 2月中旬までは不透明。3月定例会に補正予算案として提出する見込みである。

**結果** 全会一致で可決

**議案第3号**

・平成29年度矢板市介護保険特別会計補正予算(第3号)

**概要** 歳入歳出にそれぞれ5152万8000円を追加計上し、予算総額を31億8471万9000円に補正するもの。

**結果** 全会一致で可決

**議案第4号**

・平成29年度矢板市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

**概要** 歳入歳出にそれぞれ1億7668万円を追加計上し、予算総額を45億6817万6000円に補正するもの。

**結果** 全会一致で可決

**議案第5号**

・平成29年度矢板市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

**概要** 歳入歳出にそれぞれ2493万5000円を追加計上し、予算総額を3億6613万5000円に補正するもの。

**結果** 全会一致で可決

**議案第8号・第9号**

・矢板市情報公開条例の一部改正について  
・矢板市個人情報保護条例の一部改正について

**概要** 個人情報保護法及び行政機関個人情報保護法が改正されたことに伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。

**質疑** 非識別加工情報(個人の行動、状態等)に関する

**議案第8号・第9号**

る情報「パーソナルデータ」を個人が識別できないよう加工した情報)の提供の仕方は。

**説明** 資格要件を満たす事業者からの提案を受け、市が提供する流れである。

**結果** 全会一致で可決

**議案第10号・第11号・第12号**

・矢板市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について  
・矢板市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について  
・矢板市職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について

**概要** 平成29年人事院勧告により、国の一般職の職員の給与に関する法律の一部が改正されたことに伴い、国に準じた改正を行うため、条例の一部を改正するもの。

**結果** 全会一致で可決

**議案第13号・第14号**

・矢板市市税条例の一部改正について  
・矢板市都市計画税条例の一部改正について

**概要** 地方税法等の一部を改正する法律等が改正されたことに伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。

**結果** 全会一致で可決

**議案第15号**

・矢板市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

**概要** 基準府令となっている特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部が改正されたことに伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。

**結果** 全会一致で可決

**議案第16号**

・矢板市城の湯やすらぎの里設置及び管理条例の一部改正について

**概要** 温泉センター施設改修事業の実施に伴い、利用形態の一部に変更が生じるため、条例の一部を改正するもの。

**質疑** RVパーク、キャンプ場を新設するが、利用可能時間を拡大したほうがよいのではないか。

**説明** 利用者の動向をみて今後検討していく。

**結果** 全会一致で可決

**議案第17号**

・矢板市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正について

**概要** 資源物の持ち去り行為が発生し、市民のリサイクル活動に支障が出ていることから、当該行為の抑止のため罰則を定めるなど、条例の一部を改正するもの。

**議案第17号**

**質疑** 市で把握している持ち去りの実態は。

**説明** 月平均12日発生、被害額は約20万円程度と推測している。

**結果** 全会一致で可決

## 経済建設文教常任委員会

◎伊藤幹夫 ○小林勇治 高瀬由子 櫻井恵二  
宮本妙子 今井勝巳 大島文男 大貫雄二

**議案第6号**

・平成29年度矢板市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

**概要** 歳入歳出にそれぞれ72万3000円を追加計上し、予算総額を9億1002万3000円に補正するもの。

**結果** 全会一致で可決

**議案第7号**

・平成29年度矢板市水道事業会計補正予算(第2号)

**概要** 収益的収入及び支出における支出において、営業費用に230万円、営業外費用に620万円を追加計上し、水道事業費用総額を7億200万円に補正するもの。

**結果** 全会一致で可決

**議案第18号**

・矢板市立図書館の指定管理者の指定について

**概要** 公の施設の指定管理者の指定について、法の定めるところにより、議会の議決を求めるもの。

**結果** 全会一致で可決

**質疑** (現在の管理者と)再度更新とのことだが、新しい取り組みは何かあるか。

**説明** 現在、読書通帳の作成などを行っている。新しいものを取り入れ、利用者に喜ばれる図書館を目指したい。

## 請願・陳情の審議結果

陳情番号	件名	提出者 ※敬称略	所管委員会	議決結果
第24号	県立高等学校入学選抜で再募集実施を求める意見書採択・提出にかかわる陳情	全栃木教職員組合 執行委員長 糸川祥一	経済建設文教	不採択
第29号	市長杯争奪サッカー大会の開催の陳情	福島謙治		
第30号	地産地消推奨についての陳情			
第31号	市内空き農地に関する陳情			
第32号	市内空き家および空き店舗に関する陳情			
第34号	市内の自動車交通路に関する陳情その2			
第35号	市営運動公園の整備に関する陳情			
第37号	旧長井小学校に関する陳情			

## 請願・陳情は、こんな方法で

請願・陳情は、市民の皆さまの要望を市政に反映させるための制度です。請願書・陳情書を提出する方は、以下の要領でご持参ください。

### ■様式

・用紙サイズはA4版。右の様式に準じて日本語で作成してください。

### ■内容

・簡単な趣旨、理由、提出日、請願者(陳情者)の住所、氏名を記載し、押印の上、ご提出ください。※請願書には、必ず1人以上の紹介議員(矢板市議会議員)の署名、または記名押印が必要です。陳情書には紹介議員は必要ありません。※道路や水路等の場合は、地図の写しや略図を添付してください。

### ■受付期日

・定例会(3月、6月、9月、12月)開会日の10日ぐらい前までにご提出ください。市役所が閉庁のときを除き、いつでも受け付けています。

お問い合わせ先：議会事務局 TEL：43-6216

**請願書様式**

(表紙)  
○○○○に関する請願書  
紹介議員 氏 名◎

(内 容)  
件 名 ○○○○に関する請願  
要 旨 .....  
理 由 .....  
地方自治法第124条の規定により、上記の請願書を提出します。  
平成 年 月 日  
請願者(代表)  
氏 名 ○○○◎  
(連名のときは末尾に署名簿を添え、ここには代表者を記載し、ほか何名とする。)  
矢板市議会議員 様

**陳情書様式**

(表紙)  
○○○○に関する陳情書

(内 容)  
件 名 ○○○○に関する陳情  
要 旨 .....  
理 由 .....  
平成 年 月 日  
陳情者(代表)  
氏 名 ○○○◎  
(連名のときは末尾に署名簿を添え、ここには代表者を記載し、ほか何名とする。)  
矢板市議会議員 様

# 市政を問う。

12/4～6

市政の課題や将来の展望について<sup>ただ</sup>質す一般質問。  
12月議会では、11人の議員が質問をしました。  
「矢板を良くしたい!」  
各議員の熱い思い、ご一読ください。



中村 有子 議員

「学校における働き方改革」を問う。  
中小企業、小規模企業への振興策を問う。

**質問**

教員勤務実態調査から、子どもと向き合う時間の減少、教職員の長時間勤務が看過できない深刻な状況にある。  
勤務実態の適正把握と業務改善を求められているが、矢板市の現状を問う。

**質問**

矢板市中小企業及び小規模企業の振興に関する条例の新年度の支援体制、経営資源の確保が困難な小規模事業者への配慮、「住宅リフォーム助成制度」創設の考えを問う。

**答弁**

勤務時間管理は、学校日誌の活用、学校独自に作成した様式で各自記載する学校ごとの実態に合った方法で実施、検討を行っている。

業務改善のためには、「教員の担うべき業務に専念できる環境を確保」「部活動の負担を軽減」などの環境整備を整えていきたい。働き方、働く時間に対する意識改革を促す8項目の指針を全教職員へ示した。

**答弁**

条例に係る支援として、来年度くらしのびのび定住促進事業において、市内事業者への新築依頼時に補助額を増額したい。また、商工会と連携し、「やいたブランドフェア」の開催や「矢板市まちなかゼミナール」等の新規事業を展開する。

これら事業の確実な実施が小規模事業者への配慮に繋がると考える。

住宅リフォームに関しては、現行制度のさらなる周知・PRによる市内建築事業者の業務拡大に努める。

**【今回の質問】**

1. 学校教育の充実に向けて「学校における働き方改革」
2. 教育福祉について
3. 中小企業及び小規模企業の振興について



石井 侑男 議員

道の駅やいた運営方法の見直しを。  
平成30年度新規事業、重点事業を問う。

**質問**

道の駅やいたは、運営を公益財団法人農業公社に委託している。業績はオープン以来順調に伸ばしており、平成28年度の売り上げは、約4億7500万円となっている。それにも拘わらず、市には全くお金が入ってきていない。管理料、修繕費、改装費等おおよそ1億2000万円が出る一方である。運営方法を見直すべきと思うが当局の見解を問う。

**質問**

平成30年度当初予算案の新規・重点事業について問う。

**答弁**

新規事業としては、「健康マイレージ事業」「子育て世代包括支援センター」の新設、小学校に電子黒板の導入。

重点事業については、スマートIC整備事業、道路網の整備や企業誘致、定住支援制度の充実強化、保育施設整備補助事業、有害獣駆除事業、スポーツツーリズム推進事業等。また、来年度は市制施行60周年を迎えることから、記念事業を予定している。

**答弁**

現在の運営契約が来年度で満了となるため、平成31年度からの運営は、市の財政負担軽減が図れる運営手法を検討するとともに、多大な利益が出る場合は、市への還元等を検討していく。

そして、未来づくり懇談会における市民の意見等も可能な限り予算に反映させながら、活力と魅力あるまちづくりを推進していく。



中村 久信 議員

小中一貫教育の推進について問う。  
子ども医療費の現物給付拡大について問う。

**質問**

中1ギャップの解消などを図るため、義務教育課程9年間を見据えた独自のカリキュラムによる小中一貫教育を展開してはどうか。

**質問**

子育て支援の一環として、子育て世代の時間的負担の軽減を図るため、子ども医療費助成の現物給付の対象年齢を拡大してはどうか。

**答弁**

泉地区では小学校と中学校の児童・生徒・教員相互の交流が密であり、今年度は合同で運動会を実施し、さらに交流を深め良い成果を上げている。現在は、連続性を持たせた指導体制を目指し実践を積み重ねているところであり、将来的には小中9年間のカリキュラムに繋がりを持たせたいと考えている。

**答弁**

子ども医療費の助成については、現在18歳到達の年度末まで自己負担分を全額助成している。助成の方式は未就学児までが現物給付、就学児以降が償還払い方式としている。現物給付方式は、申請の手間が省けるなどのメリットがある一方、拡大すると、過剰受診になりやすく、休日受診や医療費の増加につながるといったデメリットもあることから、財源の問題を精査し検討しなければならないと考えている。

**【今回の質問】**

1. 平成30年度当初予算案について
2. (仮称)とちぎフットボールセンターについて
3. 道の駅やいたについて

※こちらの本文は、質問者本人が作成しています。こちらで紹介しているのは一般質問の一部で、すべての内容は矢板市議会ホームページで3月2日(金)よりご覧いただけます。  
※議員写真右下のQRコードから各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。動画中の注意事項を確認の上、ぜひご覧ください。



高瀬 由子 議員



## 片岡駅と連携し効果的な矢板PRを！ サイクリング事業で矢板活性化を！

### 質問

片岡駅周辺では昨今様々なイベントが開催されている。売り出し中のJR分譲地最寄り駅であり、大手企業などの送迎バス発着所でもある。利用客が多く、駅から徒歩圏内で首都圏通勤可能な分譲地もあるので、片岡駅と連携して矢板をPRしてはいかがか。

### 答弁

JR片岡駅の平成27年度の乗車人数は約26万5000人、一日平均では730人。にぎわい創出を目的とした各種イベントが開催され、ゴルフ場や高校の送迎場所でもある。東西自由通路に掲示板を設置し、ポスターなどを掲示することにより、観光や定住促進につながるPRも効果的に行う。

### 質問

城の湯温泉センター、山の駅、道の駅、(仮称)とちぎフットボールセンターを連携させたレンタサイクル事業を展開してはどうか？

### 答弁

城の湯温泉センターにレンタサイクルやRVパークなどのアウトドア体験機能を設け、来年度開設する。レンタサイクルにおいては、城の湯温泉を起点・終点とした初心者向けコースや県民の森などへヒルクライムができる上級者向けコースなどを設定し、サイクルマップ作成と併せて市内に経済効果のある仕組みを作る。山の駅、道の駅、飲食店など市内22か所の「じてんしゃの駅」も紹介し、相互利用・連携を図る。



櫻井 恵二 議員



## フットボールセンター整備以外でも積極的に「民設民営」の手法を。

### 質問

「民設民営」的手法の推進について、(仮称)とちぎフットボールセンター整備でのたかはら那須スポーツクラブの提案のような「民設民営」の手法を他事業にも矢板市として積極的に推進していくべきと考えるが、見解を問う。

### 答弁

今後は計画、発案の段階で導入の可能性を検討。

本市の厳しい財政状況や将来の財政負担等を考慮すると、公共投資額の抑制が期待でき、また、公共施設の再配置を進める中、公共施設の効果的な整備と効率的な運営に有効であると考えられる。ただし、実施に当たっては、ノウハウの蓄積、実施体制の整備等導入するうえでの課題も多くあるが、今後、公共施設の整備を含めた市の施策を実施する際には、計画、発案の段階で「民設民営」を含めた民間活力の導入の可能性を検討していきたい。

### 【今回の質問】

1. 地籍調査の推進について
2. 「民設民営」的手法の推進について
3. 指定管理料の適正化について
4. 市営住宅について



小林 勇治 議員



## 片岡駅東口整備の進捗状況は。 片岡地区の市営バス運行の見直しを。

### 質問

片岡駅西口の整備とともに片岡駅西口通りも完成した。現在、駅東口の整備に向けての取り組みがされているが、その進捗状況を問う。

### 答弁

東口整備については、歩道の未整備等の課題があり、解消のため本年度から詳細設計に着手した。概ね現在の2倍に拡張し、歩道と車道を分離したロータリー式広場とする。広場には車両の乗降場所、タクシー乗り場とともに、休憩施設、道路照明等を併せて設置する。さらに渋滞解消策として駅への右折ラインを新設する。引き続き新年度の工事着工に向けて重点的に取り組む。

### 質問

片岡地区の市営バス運行は、片岡線と安沢線の2コースである。10月から始めた75歳以上の方に市営バスの無料乗車券「ともなりパス75」配布は大変素晴らしい取り組みである。

しかし、バス停に行くのが大変なこと、バス路線自体がないなどの課題がある。当局の考えを問う。

### 答弁

現在、片岡地区は年間延べ8000人の利用がある。限られた台数での運行のため、大幅な変更は困難。そこで、今年10月より実施している75歳以上の高齢者を対象とした乗車料金無償化の実証実験の結果を基に、今後の運営のあり方について調査研究し効果的な対策を検討する。



佐貫 薫 議員



## 「健康寿命」を延ばす施策の強化と学校の先生方の多忙感解消を！

### 質問

健康寿命を延ばすことは、歳を重ねても健康で楽しく過ごせるようになり、行政としても医療費削減につながる。課題と今後の施策について問う。

### 質問

未来の矢板市を創るのは子どもたち。2020年度の新学習指導要領で小学校で外国語の教科化など新しいカリキュラムが導入され、授業時間数も増える。学校の先生方の多忙感解消のための施策について問う。

### 答弁

がん、高血圧、糖尿病などの起因になる生活習慣病改善のために、ターゲットに沿った施策を実施した。今年度の一例として、特定健診などの個人負担額を500円のワンコインとした結果、新規受診者は増加したが、まだ認知が足りない。来年度から取り組む健康マイレージ事業、トレーニング機器や健康機器を使う運動教室などとともに健康増進事業に積極的に取り組む。

### 答弁

授業時間数の増加に伴う教員への負担増は、大変危惧している。継続して矢板市としてALTや非常勤教職員を増員し、負担軽減を図るとともに、校務支援システムを導入し、効率化を図っていく。また、学校長のリーダーシップとマネジメント能力の向上を図り、行事の見直しを進めるなど教育委員会がイニシアチブを取って進めていく。

### 【今回の質問】

1. 幸齢社会へ。健康寿命の延伸について
2. 矢板市を守る。業務継続計画(BCP)について
3. 矢板市を創る。学校教育について

※こちらの本文は、質問者本人が作成しています。こちらでご紹介しているのは一般質問の一部で、すべての内容は矢板市議会ホームページで3月2日(金)よりご覧いただけます。  
※議員写真右下のQRコードから各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。動画中の注意事項を確認の上、ぜひご覧ください。





渡邊 孝一 議員

## 泉地区の道路整備を問う。 有害獣対策の成果と今後を問う。

### 質問

市道泉・長井1号線、幸岡1号線の整備及び宮川橋架け替えの方針を問う。

### 答弁

市道2路線が交差する県道県民の森矢板線では、食い違いの交差点となっており、交通の円滑化や地域の皆さまの利便性に支障をきたしている。矢板市としては栃木県施工の事業である県道県民の森矢板線の整備に合わせ、事業の推進を図っていく。

架け替えとなる宮川橋については、設計の中で検討していく。

#### 【今回の質問】

1. 泉地区の道路整備について
2. 獣害対策について



### 質問

矢板市鳥獣被害対策実施隊の実績はいかに。また、獣害対策へのさらなる支援の考えを問う。

### 答弁

今年度は、矢板市鳥獣被害対策実施隊を設置し、捕獲活動を行った。11月現在、シカ99頭、イノシシ77頭の捕獲数となり、昨年度より大幅に増えた。また、農地への有害獣侵入防止柵設置補助事業を開始し、11月現在、18件、69万2000円の補助を行った。

来年度は、有害獣侵入防止柵設置補助金の引き上げや、狩猟免許取得者への必要費用の助成、実施隊活動に対する種々の賃金、報奨金、経費などの支援を考えていく。

#### 【今回の質問】

1. これからの行政区のあり方について
2. 街路灯について
3. 林業の振興について



藤田 欽哉 議員

## 行政区安定運営のため、再編の考えは。 中心市街地の街路灯維持に支援を！

### 質問

行政区の加入率の低下、高齢化等により担い手が不足し、将来的に運営が立ち行かなくなる可能性がある。その解決策として、行政区の再編成についての見解を問う。

また、実態調査のために行政区へのアンケートを実施してはどうか。

### 答弁

市としても、地域の担い手不足は大きな問題であると考え。再編成については、歴史的経緯、地域性などへの配慮が必要であることから、行政主導ではなく、地域の機運の高まりを待って支援していく。また、提案された行政区への実態アンケート調査も実施したい。

### 質問

中心市街地、特に市役所周辺の街路灯が消えている。行政区によっては、街路灯の管理費を徴収しているが、老朽化及び劣化した街路灯の修理ができない状態である。街路灯は、街の景観や安全性の観点から重要な物なので、市の支援はどのように考えているのか問う。

### 答弁

現在、中心市街地の街路灯は、国や市の補助金によりほぼ設置されている。防犯等に資するものは、電気料金の一部を補助している。しかし、消えている街路灯や老朽劣化が見られる。維持管理等の現状については市として実態を把握できていないので、まずは実態調査をしていきたい。



今井 勝巳 議員

## スマートIC開設後の市の戦略を問う。 老朽庁舎を今後どうするか。

### 質問

スマートIC開設後の周辺開発や観光への誘導について当局の方針を問う。

### 答弁

国体開催前の平成33年3月供用開始を目指し、関係機関と協議調整や用地取得手続きを進めている。IC開設は矢板市における産業振興の新たな玄関口である「地域拠点形成エリア」として観光、交流、物販加工などの関連施設の立地を誘導し、また生活関連施設の誘導を図る。さらに観光交流拠点の連携強化、充実を図りたい。それに伴い、県民の森矢板線の整備促進を進めていく。

#### 【今回の質問】

1. スマートインター設置について
2. 国道461号整備について
3. 庁舎整備について



### 質問

耐震対策もできていない老朽庁舎を今後どうするか当局の見解を求める。

### 答弁

築55年が経過し、老朽化が著しく、設備の更新や改修もできない。もちろん、耐震基準も満たしていない。本年3月に策定した「矢板市公共施設等総合管理計画」に基づく庁舎等整備基金条例を議決いただき1億円の積立を実施した。今後「矢板市公共施設再配置計画」を進めていく中で、庁舎整備委員会を設立し具体的な計画を検討していく。

#### 【今回の質問】

1. 防災について
2. まち・ひと・しごと創生総合戦略について
3. 矢板版DMOについて



伊藤 幹夫 議員

## 防災行政無線の補完施策と防災教育を。 矢板版DMOの構築に向けた進捗状況は。

### 質問

「聞こえない、聞き取りにくい」などの意見が多い防災行政無線の対策と、それを補完する情報伝達の構築の考えを問う。

また、身近な物を使った災害対策の訓練が必要と考えるが市としての見解を問う。

### 答弁

防災行政無線が聞こえない場所の詳細な絞り込みをするため、アンケート調査を実施し、調査結果を基に矢板市に相応しい工法で伝達方法を改善していく。

また、新聞紙、ペットボトル、ビニール袋などの身近にある物を利用し、災害時に役立つ訓練メニューも増やしていきたい。

### 質問

スポーツコミッションの体制づくり、また、それを運用する矢板版DMOの構築と進捗状況について問う。

### 答弁

来年度からスポーツコミッションとしてスタートを切れるよう、今年度事業計画や収支計画、組織体制などを検討するほか、スポーツ種目の選定、ターゲットやコンセプトを明確にした戦略的なプロモーションを展開していき、DMOの登録を行うことにより、来訪者のニーズをとらえ、観光・宿泊・飲食・医療・農業など様々な業種と連携を図りながらスポーツコミッションの事業効果を最大化できるような体制づくりに努めていく。

※こちらの本文は、質問者本人が作成しています。こちらで紹介しているのは一般質問の一部で、すべての内容は矢板市議会ホームページで3月2日(金)よりご覧いただけます。  
※議員写真右下のQRコードから各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。動画中の注意事項を確認の上、ぜひご覧ください。

## 11月～1月の議会日誌

### 11月

- 8日・9日 塩谷市町村議会議長会行政視察  
(新潟県燕市ほか)
- 10日 議会報告会運営委員会正副班長会議
- 14日 議会報告会運営委員会、全員協議会、議会広報広聴委員会
- 21日 愛知県西尾市行政視察来庁  
県北五市議長会議 (さくら市)
- 22日 議会運営委員会、議会改革推進特別委員会

### 12月

- 1日～14日 第349回市議会定例会
- 1日 全員協議会、議員会
- 6日 議会報告会運営委員会、議会改革推進特別委員会
- 14日 議会広報広聴委員会
- 20日 塩谷市町村議会議長会議 (矢板市)
- 26日 塩谷広域行政組合議会全員協議会 (矢板市)

### 1月

- 18日 議会運営委員会、議会改革推進特別委員会、全員協議会、議会広報広聴委員会、議会報告会運営委員会正副班長会議
- 30日 塩谷市町村議会議長会行政懇談会 (さくら市)

## 2月～3月の議会スケジュール(予定)

### 2月

- 5日 塩谷広域行政組合議会定例会 (矢板市)
- 14日 県北五市議長会議 (那須烏山市)
- 15日 全員協議会、議員会
- 22日 議会運営委員会

### 3月

- 2日 全員協議会、定例会開会
- 5日～7日 一般質問、予算審査特別委員会
- 8日～14日 常任委員会、予算審査特別委員会分科会
- 16日 予算審査特別委員会
- 20日 塩谷市町村議会議長会議
- 22日 全員協議会、定例会閉会

### News

## 今号からページの 開き方が変わりました。

前号まで縦書き、横書きを併用していましたが、読みやすさ向上のため、すべて横書きで統一しました。これに合わせて、市民の皆さまからもお声をいただいております。ページの開き方を左開きとしました。

## 議会を動画でご覧いただけます。

平成30年1月より、矢板市議会のYouTubeチャンネルを開設しました。今後も本会議の様子など、議会に関する動画をアップロードする予定です。動画中の注意事項をご確認の上、お気軽にご覧ください。



ぜひ、傍聴にお越しください。  
なお、日程等が変更となる場合がございますので、あらかじめ議会事務局にお問い合わせください。(TEL.43-6216)

## 編集後記

議会だよりをリニューアルしてから2年以上が経過し、創刊号から節目の200号を迎えることができました。年4回の発行として、50年という歳月を市民の皆さま方と共に歩んできたこととなります。ここまで継続できたことは、市民の皆さまのご理解・ご協力があり、支えていただいた多くの関係者のおかげだと感謝に堪えません。「開かれた議会」をより具現化していくため、「わかりやすく、読みやすく、より親しみやすい議会だより」を作成していくために、市民の皆さまのご意見を拝聴し、日々、進化を続けて参りたいと存じます。(伊藤 幹夫)



- ◎関由紀夫 ○佐貫 薫 ○伊藤幹夫
- 高瀬由子 藤田欽哉 櫻井恵二
- 小林勇治 和田安司 宮本妙子

※◎は委員長、○は副委員長

「矢板市議会だより」について、ご感想・ご意見をお待ちしております。  
FAX(0287-44-1100)、封書など(〒329-2192 矢板市本町5-4 矢板市議会事務局あて)、Email(gikaijimukyoku@city.yaita.tochigi.jp)

※次号(第201号)は5月1日発行予定です。

